

ひきたよしあきさんと書く・話す 【伝わる言葉のワークショップ】



講師

作家・コミュニケーションコンサルタント・
大阪芸術大学客員教授
(株)SmileWords 代表取締役

ひきた よしあき

【ハイブリッド】

丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。ご希望は事前にお伺いします。
今後の状況によって【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。

変化するコミュニケーション環境に適応した「書く・話す」言葉の表現

コロナ禍とリモートワークの恒常化によって、言葉数が減り、口調がきつくなり、略語やスタンプで伝える機会が増えました。その結果、「自分の思いをうまく言葉にできない」「相手の反応がわかりづらくて不安」などの悩みが増えています。自分にフィットする言葉を見つけ、相手にストレスをかけずに意見を伝えるには、「書く」と「話す」を一体化し「書くように話し、話すように書く」という新しいスキルを身につける必要があります。大きく変化したコミュニケーション環境で、世代や価値観などの違いを乗り越える「やわらかくて筋の通ったコミュニケーション力」を、書くこと・話すことで鍛えます。

ひきたよしあき

10・13 | 木
18:30-21:30

自分語発見： 軸となる「自分語」を発見する

1

同じように見える日本人でも、生きてきた時代、環境、ネットとの関わり方などによって価値観が大きく違います。社会状況やインターネットの発達史などを鑑みながら、自分の軸はどこにあるのか、それを表す一言は何かをみんなで語りあう。まずは「自分語」の発見から始めていきましょう。

11・17 | 木
18:30-21:30

相手に届ける自分語： さまざまな場面で「自分語」を使いこなす

4

相談、お詫び、お礼、質問、報告、反論、売り込み、弁解、面接、結婚式のスピーチ・・・人は、生活の中で様々な場面で語って生きています。その語りのひとつひとつがあなたのイメージを決定づけています。今回は、さまざまなシーンで「自分語」を語るトレーニングをしていきましょう。

10・20 | 木
18:30-21:30

オリジナリティの源泉は どこにある

2

作家や漫画家は、過去の経験をリアルに思い出すことで、オリジナルな表現を発見していきます。過去の経験を感覚的かつ客観的に振り返る手法を通して「自分語」を見つけ、それを日常のコミュニケーションに活かしていく。オリジナリティの源泉が見つかれば、言動にブレがなくなります。

11・24 | 木
18:30-21:30

世界に届ける自分語： 「自分語」で議論する

5

あらゆる場所で二項対立が続く世の中。クレームや炎上を恐れて発言を控えるのではなく、批判を取り込みながら、敵をつくらず「納得解」を見つけていく訓練を行います。今回は、話し合いを通して言葉を定義する力、自ら反論を作り出す力を養い、自分語で議論する方法を学びます。

10・27 | 木
18:30-21:30

相手に届ける自分語： 理解を引き出す「物語」

3

周囲の人の理解を得るには、あなたの話が人の気持ちを引き込む「物語」になっていることが大切です。今回は、企業の業績を一気に上げた物語を構築するメソッドを使い、自分の言葉で理解と納得を引き出します。スピーチやリモートワークに効果的なしぐさやジェスチャーも実践します。

12・1 | 木
18:30-21:30

世界に届ける自分語： これからの言葉と コミュニケーション

6

最後の講義は、「自分語」を中心としたスピーチを行います。政治家やエグゼクティブのスピーチを吟味する「評価シート」や具体的なスピーチを構成する「ロジックシート」などを用いて、これまで学んだことを踏まえて、スピーチを披露していただきます。

「書く」と「話す」を一体化

毎回、テーマに沿って「書く(言葉にする)」「話す(伝える)」ワークを行い、講師がフィードバックします。自分の思いを的確に言葉にする力、相手に負担をかけずに意見を伝える力を鍛えます。

「言葉が通じない」悩みを解決

広告会社でスピーチライターとして、多くのエグゼクティブ、政治家のスピーチを手がけてきました。また小中学校から大学、企業、行政でさまざまな方と会い、言葉が通じない悩みを解決してきました。その経験を活かし、「書く力」を身につけ、それを「話す力」へと発展させていくメソッドをご紹介します。明日から公私に活用できるものばかりです。

講師プロフィール


ひきたよしあき

1984年早稲田大学法学部卒。博報堂に入社後、CMプランナー、クリエイティブディレクターとして、数々のCMを手がける。今も政治、行政、大手企業などのスピーチライターとしても活動。多くのエグゼクティブからの指名が殺到している。企業、行政機関等でコミュニケーション研修を開催する傍ら、大阪芸術大学、明治大学をはじめ、多くの大学の講義。学生から「就職後まで役に立つ」「一生ものの考える力が身につく」と支持を集める。WEB教育番組Schooでは、毎月約1万5,000人の視聴予約。朝日学生新聞社主催のWEB番組「みんなをつなぐ新聞」は1,000名を超える小学生が集まる。現在、著作数17冊。累計24万部。日本語の素晴らしさ、コミュニケーションの重要性を様々な角度からアプローチし、広い世代に伝えている。

■主な著書

『人を追いつめる話し方 心をラクにする話し方』(日経BP)
『一瞬で心をつかみ意見を通す対話力』(三笠書房)
『「スルーされない人」の言葉力』(大和出版)
『人が動きたくなくなる言葉を使っていますか』(大和書房)
『5日間で言葉が「思いつかない」「まとまらない」「伝わらない」がなくなる本』(大和出版)

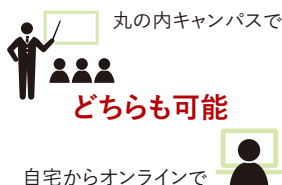
開催概要

日程	2022年 10/13、10/20、10/27、11/17、11/24、12/1 (すべて木曜日)
開催形態	ハイブリッド(丸の内キャンパス・オンライン)
回数	6回
時間	18:30-21:30 (3時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス/オンライン
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	・自分の考えや思っていること、気持ちを自分の言葉で表現したい方 ・語彙力不足や話し方、表現方法に悩んでいる方 ・相手に伝わる言葉の選び方、話し方を鍛えたい方 ・世代や立場の違いにより「言葉が通じない」と悩んでいる方
申込み	http://www.sekigaku-agera.net/ 

講座の開催方法およびキャンパスにお越しになる皆様へのお願い

本講座は【ハイブリッド】形態で開催いたします。ただし今後の状況により【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。お申し込みにあたっては、下記開催形態およびキャンパスへお越しになる皆様へのお願いをご確認の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【ハイブリッド】



ハイブリッド開催形態について

- ・丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。
- ・参加方法は毎回選択していただけます。ご希望は開催前にお伺いします。

オンライン参加について

- ・オンライン会議システム Zoom を使って配信します。
- ・パソコン(またはスマートフォン、タブレット)およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoom を初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

キャンパスにお越しになる皆様へのお願い

- ・事前に体調を確認の上お越しください。過去7日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への訪問歴がある方は来場をお控えください。
- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。

会場の感染予防措置

- ・講師およびスタッフのマスク着用、手指消毒、体調管理の徹底
- ・教室共用部分の清掃、消毒(机、椅子背もたれ、ドアノブ等)
- ・アルコール消毒液の設置
- ・可能な限り間隔を開けた座席配置
- ・常時空調換気と適宜教室扉の開放換気

お問い合わせ 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com

今後の状況によっては対応施策が変更となる場合がございます。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

